

# パリに磨かれたクアルテットの輝石 ヴォーチェ弦楽四重奏団

サラ・ダイヤモンド／セシル・ルーバン(ヴァイオリン) ギヨーム・ベケール(ヴィオラ) リディア・シェリー(チェロ)



共演：波多野睦美(メゾソプラノ)

2021年11月4日(木)19:00開演

サントリーホール ブルーローズ

ドビュッシー：弦楽四重奏曲

バルメール：新作～ドビュッシーに捧げる<日本初演>

ドビュッシー／バルメール編曲：抒情的散文より<日本初演> 共演：波多野睦美

パリ国立高等音楽院で結成され 17年目を迎えたヴォーチェ弦楽四重奏団は、多岐に渡るクラシック音楽シーンで常にチャレンジングな存在である。ジュネーヴ、ボルドー等、数々の著名なコンクールで入賞以来、パリを拠点に世界中で演奏活動を繰り広げている。アルファ・クラシックスからCDを多数リリース。その中には、ジャズやワールド・ミュージックも含まれる。近年は後進の指導にも力を注いでおり“Quatuor à Vendôme”を設立。今回の公演は、波多野睦美との初共演によるフランスの大家「ドビュッシー」をテーマにした特別プログラム。

チケット(全席指定) \*チケット発売情報は <http://www.tvumd.com/>にて発表

一般：4,000円 U25：2,000円

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、公演開催方針が変更となる可能性がございます。最新の情報は <http://www.tvumd.com/>まで。